

動き出した保全・活用への取り組み

～地域活動と自然の保全を両立させるために～

福井の里地里山の大部分は、私たちの暮らしの変化とともに、人にとっては価値の低いものに、また多くの野生動物にとっては生活しにくい環境になってしまいました。しかし、悠久の時を越えて多様な野生生物を育ててきた福井の里地里山の原風景を、次世代に引き継いでいくことは、今を生きる我々の重要な使命です。

そこで県では、豊かな里地里山の自然を保全し、さらには再生する活動を通して、活力ある地域社会をよみがえらせ、再び里地里山の価値を取り戻すことを目指しています。

人とメダカの元気な里地づくり（武生市）

武生市西部地域では、国の絶滅危惧種に選定されているアベサンショウウオをはじめ、メダカやゲンゴロウなど多くの希少な野生生物が生息しています。そこで県では、武生市西部地域を里地里山保全活用の先行モデル地域として位置づけ、平成15年度から住民、市、県、関係団体、企業が連携して、さまざまな保全活用に向けた取り組みを行っています。

また、国においても、平成16年度に里地里山保全再生モデル事業地域に選定し、関係省庁が連携して休耕田の自然再生などのモデル事業に取り組むことにしています。

「人とメダカの元気な里地づくりビジョン」の策定

地域住民、専門家、関係団体、関係行政機関による里地里山の保全活用に向けての合意形成「人とメダカの元気な里地づくり検討会」の開催



普及啓発と情報発信、活動拠点

エコレレッジ交流センターでの環境学習
・各種環境教育メニューの実施
・活動情報の発信
旧安養寺分校の活用



地域の現状の把握

自然環境調査
社会環境調査
地元学による調査
・住民が地域外の人々と行う里地探検隊
・地域の宝物の再発見



市民参加の森づくり

・里山林の維持管理
・自然体験活動の実施



自然体験活動受入れ

青少年育成キャンプ
・農業体験指導
・地元住民との交流
全国メダカシンポジウムの現地見学ツアー

地元住民による自然環境の保全

メダカの学校本校、分校づくり
自然再生活動の実施
・休耕田のピオトープ化
・土水路やため池の維持管理
・在来種を駆逐するザリガニの駆除



小中学校における環境学習

生き物調べと分布マップづくり
自然再生活動の実施
・手作業によるピオトープづくり

・在来種を駆逐するザリガニの駆除活動成果の発表
・全国メダカシンポジウム
・文化祭



安養寺さざ草王国

サギソウの保護増殖
・里親制度
・自生地への再生
・さざ草展の開催
日本の里地里山30
- 保全活動コンテスト - 入賞

企業による保全活動への支援

ふくい里地里山いきいきプロジェクト

福井大学による生態系復元の試行

休耕田に水を張ることによる生物多様性保全の効果試験



「かや田」の保全と地域環境教育（三方町）

三方町中山では、地元住民と市民グループが協働して多様な生物がすむ水田づくりに取り組んでいます。通称「かや田」と呼ばれるこの水田では、無農薬有機栽培や休耕田のビオトープ管理が進められ、一時消滅状態であったミズアオイなどの絶滅危惧種が復活するなど、生き物でにぎわう昔の水田環境がよみがえってきています。現在は地元小学校の環境学習のフィールドとしても活用されており、県や町も自然観察会等のイベントを開催したり、かや田の自然をホームページで情報発信するなどして、かや田保全への取り組みを支援しています。



市民グループ「ハスプロジェクト」

三方町にある小河川「鱒川（はすがわ）」の名前の由来となっている幻の魚「ハス」を呼び戻すことをはじめとして、三方五湖とその周辺の環境を復活させることを目的とした市民グループ。

- ・生態系保全のための有機無農薬稲作の実施
- ・休耕田を利用したビオトープの管理
- ・稲作に関わる作業への参加呼びかけ
- ・イベントの広報協力
- ・農業指導
- ・環境教育指導の補助



有機無農薬栽培稲作の実施



栽培したお米のラベル

三方町内の小学校

町内の小学校がかや田をフィールドとした環境教育・地域教育などを行っています。

- ・かや田を使った環境教育の実施
- ・PTA向け環境教育の実施
- ・安全確保のための木道作成
- ・草刈り等作業協力



稲作体験学習



自然観察のための木道設置



親子かや田観察会

地元(三方町中山)の方々

- ・稲作用地の提供
- ・集落センターの開放
- ・農業指導、農機具の貸与
- ・サクラ植樹による周辺の緑化
- ・イベントの広報協力



農業指導

三方町

- ・小学校の環境教育成果発表会（みかた環境フェア）の開催
- ・イベントの広報協力
- ・環境教育への学習補助金の支給



福井県自然保護センター 福井県海浜自然センター

- ・一般向け保全作業型自然観察会の実施
- ・地元小学校への出前授業
- ・里地保全のための調査研究
- ・かや田の自然情報のホームページ等での発信



保全作業型自然観察会



小学校への出前授業



地元への調査結果報告（かや田ニュース）

各イベント参加者の声から...

（気山小学校主催、親子かや田観察会に参加したPTA）
私が小学校のころは、さえない場所だなあと感じていた。しかし県内でも有数のすばらしい所と聞き、みんなで守っていかねばと感じた。

（自然観察会参加者・子ども）かや田には、いろんな生き物がいてすごいなあと思いました。
（自然観察会参加者・大人）子どもがよるこんで楽しんでいるので来て良かったと思いました。イナゴ、美味しかったです。

（環境教育成果発表会「みかた環境フェア」参加者）
子どもらしく、子どもの目を通した素直なきもち。大人の考えを越えるまっすぐで建設的な考え方に教えられた。いろいろな人の知恵を借り、町民皆で取組んでいかなければと思った。



絶滅した動物を復活させる取り組み ～トキの野生復帰プロジェクト(新潟県佐渡市)～

新潟県の佐渡市では、中国から贈られたトキの人工繁殖によって将来には人工繁殖個体の野生復帰が可能な状況になることが期待されています。このため、実際に佐渡で野生復帰させトキと共生しうる地域社会を構築することを目指して、平成12年から環境省と佐渡島民を中心として、関係行政機関、団体、専門家、地域住民等の各団体が協同して課題に取り組んでいます。

2003年秋には、トキの野生復帰連絡協議会が結成され、環境省、新潟県、佐渡市、トキ交流会館、佐渡トキ保護センターなどからも情報提供を受けつつ、各団体の活動情報を交流しています。また、トキ交流会館は、里山保全活動体験、鋤、スコップなどの研修機材の貸与、ボランティア団体や修学旅行などの要望に応じて、見学・研修・活動体験などの企画・運営を行っています。



トキの幼鳥

共生と循環の地域社会づくりビジョン

- 人と自然の共生
 - 環境保全型農業の経済的確立
 - 保全管理作業、生息環境の復元
- 次世代との共生
 - ふるさとの自然風土と生活文化、伝統文化の伝承
- 農村と都市の共生
 - 保全活動&産直交流ツーリズム

ビジョン実現のためのシナリオ

- 情報の拠点機能の充実
- 保全管理作業の推進
- 観光の促進
- 環境保全型農業の啓発
- トキの野生復帰支援
- 共生と循環の地域社会づくり

各種保全団体・NPO等

事業推進役となる組織

国・県・市町村

専門家

学校、教育委員会

生協、商工会、観光協会

企業

JA、農業改良普及センター



役割分担に基づいた
事業の企画と推進

集落組織、地域住民

営農組織

土地改良区

森林組合・漁業組合

トキのすむ
島づくり



環境にやさしい
米作り



トキ学習型
修学旅行



トキのすむ
水田の整備

都会人が魅力を感じる“福井型エコ・グリーンツーリズム”の推進

福井には、都会人が魅力を感じる海、川、湖、里地里山、奥山などの多様な自然環境が豊富にあり、これらの自然資源を活用したエコツーリズムを展開できる可能性があります。

県では、「福井型エコ・グリーンツーリズムシンポジウム」を開催し、自然体験や農林水産体験、食体験など、福井の魅力を生かした「福井型学び体験する旅」について話し合うとともに、自然の語り部養成事業では24の方が地域の案内人として養成されました。

また、モデル3地区（大野市、池田町、三方町）では、地元と一体となって、自然体験プログラムを開発し、福井型エコツーリズムを推進していきます。



どんぐりの森づくり 絶滅危惧種の学習会 森林環境の学習会 稲刈り体験



福井型エコ・グリーンツーリズム
シンポジウムの様子

写真提供 ㈱南信州観光公社